

【コピー、転送、回覧など多くの人にお渡しください。各団体各地の活動をお知らせ

メールニュース

No.21-06
2021年 2月 3日

安保破棄中央実行委員会

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町 2-11-13
TEL03-3264-4764 FAX03-3264-4765

浦添市長選

宮古と西之表の当選に続き 軍港移設反対の伊礼ゆうき氏の勝利を

投票日まであと4日 全国からの支援を

沖縄県宮古市長選は座喜味一幸氏、鹿児島県西之表市長選では八板俊輔氏がそれぞれ当選しました。八板市長再選に対して、東森英男安保中央事務局長が2月1日、談話を発表しました(別記)。2日には、八板市長は岸信夫防衛相に基地建設中止の要請書を提出しました。

沖縄県浦添市長選挙が2月7日投票でたたかわれています。那覇軍港の浦添移設が最大争点となっています。移設反対を訴えて伊礼ゆうき氏が無所属で立候補しています。選挙戦は相手陣営がデマチラシを配付するなど大激戦です。

宮古島と西之表に続いて、浦添市長選の勝利



のために全国からのカンパ、電話かけなどの支援をお願いします。

八板市長 馬毛島基地計画中止を要請 (しんぶん赤旗 2/3 付)

鹿児島県西之表市の八板俊輔市長は2日、岸信夫防衛相宛に、同市の馬毛島で進む自衛隊基地建設計画の中止を求める要請書を郵送しました。①施設整備に関する入札の撤回②海上ボーリング調査③今後予定する環境影響評価の取りやめ—の3点を求めています。

馬毛島の基地は米軍空母艦載機の離着陸訓練(FCLP)の移転先。要請書は、1月31日投開票の同市長選で防衛省の計画に反対する八板氏が再選されたことにより、「改めて民意が示された」と主張。地元住民の意向に沿って対応するよう要請しました。

「オンライン・学習と運動交流の集い」(「全国代表者会議」)

2月13日(土)午後1時~4時 参加申し込みは、2月8日(月)までに安保中央まで申し込んでください。参加方法については参加登録された方に送付します。

西之表市長選挙での八板市長再選をふまえ、政府は馬毛島への基地建設を断念せよ(談話)

1月31日に行なわれた鹿児島県西之表市の市長選挙で、馬毛島新基地建設に反対する現職の八板俊輔市長が、基地賛成の相手候補を破って当選しました。

馬毛島は、西之表市に属する島であり、米原子力空母艦載機の夜間離着陸訓練場となれば騒音などで市民生活が脅かされます。また馬毛島周辺はかけがえのない漁場となっており、漁業者にとって死活問題です。

政府は昨年、地元の反対を無視して、海上ボーリング調査を行なうなど、なし崩し的に基地建設を進めています。

八板市長は昨年、馬毛島の軍事基地化について「失うものが大きい」「同意できない」と反対の立場を明確に表明しました。

今回の選挙結果は、西之表市民による「基地建設ノー」の明確な意思表示であり、政府は基地建設にかかわる一切の作業を中止し、基地建設を断念すべきです。

私たちは、西之表市民をはじめ、周辺住民のみなさんと連帯して、全国の世論を高めて基地建設中止までたたかう決意です。

駐留経費1年延長提案 (しんぶん赤旗 2/2 付)

在日米軍駐留経費の日本側負担(思いやり予算)をめぐる、1月27日に茂木敏充外相が米国のプリンケン国務長官と電話会談した際、1年間の暫定協定を結ぶ案を打診したことが1日、分かりました。政府関係者が明らかにしました。暫定協定が3月末に切れることを念頭に、週内にもオンラインによる日米実務者協議を開き、早期妥結を目指します。22年度以降の負担については改めて協議します。